

沖縄戦関係年表（1944 年）

1944	3/22	南西諸島に大本营直轄の第 32 軍が新設され沖縄防備本格化する。
	5/1	西原村の浜之御殿にて小那覇飛行場の起工式が挙行される。
	6 月	西原村役場敷地の一角に行政文書や重要書類保存のため、役場壕を掘る。
	7/18	東条内閣総辞職する。
	8/20	独立歩兵第 11 大隊、沖縄県那覇港に上陸し、832 人が西原国民学校に宿営し、沖縄本島防衛の任に就く。
	8/22	本土への学童疎開船対馬丸、悪石島付近で米潜水艦ボーフィン号の魚雷攻撃を受けて沈没。犠牲者 1,482 人（内学童 784 人）※①
	8/29	西原国民学校の疎開児童、名瀬丸に乗船し出港する。
	9/2	第 62 師団工兵隊、西原村の徳佐田や幸地に陣地構築作業を開始する。 小那覇飛行場設営のため大規模な徴用が始まる。
	9 月	西原村小那覇に患者療養所を開設する。
	10/10	米機動部隊の艦載機、延 1352 機が南西諸島を空襲し、那覇市は 90% が灰燼に帰す。 沖縄製糖西原工場と小那覇飛行場が爆撃を受け、小那覇集落が被災した。
	10/15	西原村の青年数 200 人余が現地入隊する。
	11 月	西原国民学校々庭において、独立歩兵第 11 大隊の創立記念祭が挙行される。

※①犠牲者数は『沖縄県史各論編第 6 沖縄戦』より。

（参考：『西原町史』第 3 巻・資料編 2 「西原の戦時記録」）

西原町教育委員会　〔令和 7（2025）年 6 月〕